

STRJ ワークショップ パネルディスカッション

「日本半導体の復活とロードマップ活動」

パネリストの皆様にはご多忙のところ、今回のパネルディスカッションご出演をご快諾いただき有難うございます。パネルのスコープはつぎの通りです。広くフロアからもご意見を賜れば幸いです。

1 日時： 2002 年 1 月 15 日（火） 16:20-17:50

場所： 青山フロラシオン

2 パネルディスカッションスコープ

日本の半導体産業は 1980 年代の DRAM 等の事業成功により米国とならび世界をリードしたが、1990 年代に入り、二度にわたる半導体産業の停滞と米国の前進、アジア、欧州の台頭により世界での地位が低下している。半導体産業の IT やデジタル家電を牽引する基幹産業としての重要性は変わっていないが、技術については、リグラフィ、フロントエンドプロセス、トランジスタ、配線、設計・テスト、実装等ほとんどの技術分野で限界が近づき、開発難度が飛躍的に高まるとともにコスト上昇の問題も顕在化している。この限界を解決するソリューションを開発できるかどうかによって、今後の産業の主導権がとれるチャンスとも云える。

ロードマップ活動も、従来のように個別技術追求により技術トレンドが実現できた時代から、コスト構造を考慮した産業経済モデルを開発し、技術難度をシステムティックに検討することにより合理的ロードマップを追求する必要が生まれていると云える。本パネルでは今後のロードマップ活動を日本半導体産業の活性化に活かすための戦略について有識者にご意見をいただき、今後の STRJ 活動に生かしてゆきたい。

3 パネルディスカッションの進め方

(1) STRJ 活動を取巻く諸問題,進め方 (モデレータ/進行役-増原利明 (STRJ 委員長) - 5 分

2001 年 ITRS における技術限界、経済性と技術の両立

(2) 各パネリストプレゼンテーション。 - 8 人で 40 分。

パネリスト (敬称略)	視 点
浅田邦博 (東京大学教授)	設計・テスト、人材育成
海野陽一 (半導体産業研究所所長代行)	技術限界に挑戦するコンソ - シアム活動
大見忠弘 (東北大教授)	技術限界に挑戦する産学協同研究活動
香山 晋 (東芝(株)半導体社副社長)	半導体ビジネスの方向と STRJ 活動
篠山伸彌 (株ニコン常務取締役精機カンパニー・プレジデント)	半導体装置業界ビジネスの方向と STRJ 活動
廣瀬全孝 (産総研次世代半導体センタ長)	技術限界に挑戦する国家プロジェクト研究活動
真峯隆義 (ソニー(株)SNC LSI テクノロジー開発部門長)	半導体ビジネスの方向と STRJ 活動
森野昭彦 (Selete 専務取締役)	技術限界に挑戦するコンソ - シアム活動

(3) その後、会場より質問をいただく。